



LGBTQに寄り添う
Ally企業の取組を紹介

だれひとり とりのこさない 社会へ

LGBTQ

ア ラ イ
ALLY っ

なんだろっ

Ally企業としてさまざまな取組をしている企業があります。

個人や企業がLGBTQへの理解を深めることで、すべての人が平等に暮らせる未来へ！

本書を通してLGBTQに寄り添うAlly企業を知ってください。

※LGBTやLGBT、LGBTQ+などさまざまなセクシュアル・マイノリティを表す総称がありますが、本書では、LGBTQ(Lesbianレズビアン:Gayゲイ:Bisexualバイセクシュアル:Transgenderトランスジェンダー:Questionクエスチョニング)で統一しています。

すべての人が平等で自由でいられるために。

多様な性を理由に差別を受けることがない社会、誰一人として生きづらさや疎外感を感じることはない社会をつくることは、SDGsの理念でもあります。

LGBTQなどの性的マイノリティを支援する「Ally(アライ)」は、英語で「支援・同盟」を意味します。企業がAllyを名乗る動きは、国内でも進んでおり、さまざまな活動やイベントに参加する県内企業も増えています。

目次

Ally企業に行ってみました！	3
(日本トランスオーシャン航空株式会社)	
LGBTQに寄り添う企業	5
沖縄セルラー電話株式会社	6
沖縄タイムス社	7
シティグループ証券株式会社	8
シティバンク、エヌ・エイ東京支店	
瑞泉酒造株式会社	9
株式会社チェリオ沖縄	10
日本トランスオーシャン航空株式会社	11
ホテルパームロイヤルNAHA国際通り	12
取材後記	13
LGBTQを知るために／ピンクドット沖縄	14

学生たちが、企業の担当者に直接お話を伺いました。

Ally企業に行って みました！

LGBTQに寄り添うAlly企業ってどんなことをしてるの？

県内でもAlly企業として活動している企業が増えています。学生のふたりが、日本トランスオーシャン航空を訪ねて、そんな疑問を担当の方に取材しました。

取組を行うきっかけは？

JALグループでは、女性をはじめとする多様な人財の活躍を強力に推進するダイバーシティを実現するための一歩として、2015年から「JALなでしこラボ」の取組を始めました。LGBTQなどの支援活動もそのひとつ。取組の目標として掲げていることは、社員全員が気持ちよく働ける環境をつくることです。

実際にどんな取組をしていますか？

LGBTQへの理解を深めるために、県内の企業と合同講演会(2016年～)を行っています。社内には、相談窓口を設けました。社外の弁護士と連携して相談を受けています。同性パートナーも配偶者同様にマイルのシェアができるようになりました。社外では、ピンクドット沖縄へ協賛を行い、関係者のためのチャーター便を運航。イベントには多くの社員が参加しています。また、隔月発行する機内誌には、社名と一緒にレインボーフラッグを掲載するなど、企業内にとどまらず、さまざまな取組を行っています。

沖縄キリスト教学院大学4年
新垣 開世 さん



環球科技大学(台湾)4年
井手 賀奈子 さん

取材協力:O2 OKINAWA OFFICE

このお二人に聞きました！

日本トランスオーシャン航空の
企業情報はP11



人財部 人事企画グループ 主任

永田 柊 さん



人財部 人事企画グループ 主任

照屋 花鈴 さん

今後予定していることや 目指していることは？

性別や国籍などではなく、個人の魅力
を大事にすることが当たり前になることで
す。そのためには、これまでの取組を継続
する必要があります。私たちの言動や活
動が差別につながらないか、想像力を持っ
て取り組みます。

Ally企業の取組って、人を大切に
するってことなんですね♪

取材後記はP13 を読んでね。

活動を通し変化がありましたか？

一人ひとりに配慮する環境が整ってきたと感
じています。以前はCAは女性、パイロットは男性
という固定概念がありましたが、男性CAや女性
パイロットが増えてきているところにも表れてい
ます。最近では女性の一等航空整備士も誕生し
ました。



さあ、のぞいてみよう！

LGBTQに 寄り添う企業



work with Pride
PRIDE指標レポート

LGBTQのみなさんが働きやすい職場作り。それは、誰もが働きやすい職場作りにつながります。県内でもAlly企業として全ての個性が輝き、働きがいを感じる職場環境を整え「PRIDE指標」にて認定を取得するなど、社内外でLGBTQへの理解を深めるための活動を行う企業が増えています。

そんな企業7社を「人材育成・啓発」「社内制度・環境」「取組・評価」、3つの視点でご紹介します。

※「PRIDE指標」とは、work with Prideが策定している職場におけるLGBTQ等セクシュアルマイノリティへの取り組みの評価指標です。

※「SDGs」持続可能な17の開発目標のアイコンは、各企業の取組状況を表しています。

安心な暮らしからワクワクする未来まで

強みである通信技術を軸に、沖縄の暮らしと未来のために貢献。

「ダイバーシティが基本」を体現し、LGBTQを含む働きやすい職場づくり、施策を推進します。



人材育成・啓発

オンラインセミナー E-Learning研修

県内企業5社合同でグループ会社含む全従業員を対象にLGBTQセミナーを開催。セミナーの様子はE-Learning講座として配信し、正しい理解を促進しています。

さらなる理解促進に向けて

理解浸透度を確認するために従業員意識調査を実施(2022年9月)、結果を踏まえ今後の啓発活動に繋げます。

社内制度・環境

行動指針として明記

『性別、年齢、国籍、人種、民族、出身、思想、

信条、宗教、疾病、障がいの有無、性的指向、性自認などによる理由で(中略)あらゆる事業活動において不当な差別やハラスメントその他個人の尊厳を傷つける行為を行いません。』という文言を明記し、HP上で広く公開しています。

社内制度の整備

同性パートナーを配偶者に含めた「配偶者」規程を制定。祝金、休暇、各種手当などの社内制度を同性パートナーについても適用しています。

安心して働ける環境づくり

本社や各事業所、取引代理店、子会社向けにもセクハラ・パワハラ防止並びにヘルプライン・相談窓口のポスターを展開し、啓発しています。

取組・評価

PRIDE指標(2022)認定

認定を通じて当社フィロソフィの一節にある「ダイバーシティが基本」を体現し、今後もLGBTQを含むさまざまな従業員が働きやすい職場づくり、社内施策の推進を続けていきます。

イベント・パレードへの参加

ピンクドット沖縄2022において、ダイバーシティ主管本部の部長など複数名がパレードに参加しました。



電気通信事業

沖縄セルラー電話株式会社

所在地／沖縄県那覇市松山1丁目2番1号

問い合わせ／人事部 採用・教育グループ
098-869-3076



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS





地域に思いを寄せ地域に役立つ挑戦を続ける

幅広い分野で情報を発信！芸術・芸能・スポーツなど数多くの主催イベントを開催しています。
時代の変化に柔軟に対応、新規事業を積極的に展開しています。



シティ、LGBTQへの積極的な取組

沖縄で20年以上にわたって事業を展開している唯一の外資系金融機関として、
沖縄での取り組みを支援し、地域社会への還元、そして発展に貢献してまいります。

人材育成・啓発

毎年LGBTQ講演会を実施

性の多様性について理解を深めるよう、LGBTQ講演会の内容を全社員に共有することで、身近な存在であるLGBTQ当事者の方々が働きやすい職場づくりに努めています。

社内制度・環境

相談窓口の設置

労働組合および健康相談室に、当事者がいつでも相談できるような相談窓口を設置しています。

取組・評価

新聞で情報発信

LGBTQに関する情報を発信しています。昨年11月に開催されたLGBTQ普及啓発イベント「ピンクドット沖縄2022」では関係者へのインタビューを通して、性の多様性を認め合える社会を実現したいという思いを県民に伝えました。



履歴書の「性別」表記を削除

弊社の採用試験で提出する履歴書から「性別」の表記を削除しました。

LGBTQ映画に協賛

2020年、LGBTQをテーマにした映画に協賛し、上映会の様子を記事で報道しました。

PRIDE指標認定

PRIDE指標では、3年連続でゴールドを取得した実績があります。これからは誰もが働きやすい職場環境づくりに努めます。

人材育成・啓発

内外に向けて積極的に活動

100名を超える有志社員によって運営しているシティ・プライドというグループが様々な活動を主導しています。

メンタリングプログラムや研修

LGBTQ社員向けメンタリングプログラムやリーダーシップ研修、全従業員対象のオンライン研修を実施。LGBTQに関する正しい理解を促進しています。

講演会で理解度促進

社内外のゲストスピーカーによる講演会を定期的に開催。社内での理解の促進や働きやすい環境づくりに努めています。

社内制度・環境

社内規定

同性パートナー(同性婚)への福利厚生を社会保険等法律上認められないものを除き、異性婚と同等となるように設定し、社内通称名の使用も可能です。

養子縁組など具体的な支援を

養子を迎える社員の養子縁組支援プログラムを導入し、新型コロナの職域接種は、パートナーを含む家族や親族も対象としました。

パーソナルケア休暇を導入

家族やパートナーのケアに使える有給休暇を、年次有給休暇とは別に付与しています。

取組・評価

PRIDE指標認定

work with Prideが策定したPRIDE指標で最高評価「ゴールド」を2022年まで6年連続で受賞。2021年には、新設「レインボー」認定も取得しています。

プライド月間(6月)およびピンク・フライデーの啓発活動(11月)への積極的な取り組み、LGBTファイナンスのメンバーとして東京レインボープライドに協賛、レインボーリール東京、ダイバーシティ・キャリアフォーラム、ピンクドット沖縄などに毎年参加。同性婚の法制化「Business for Marriage Equality」にも賛同しています。

新聞業

沖縄タイムス社

所在地／那覇市久茂地 2-2-2

問い合わせ／098-860-3548



金融業

シティグループ証券株式会社
シティバンク、エヌ・エイ東京支店

所在地／東京都千代田区大手町 1-1-1

大手町パークビルディング

問い合わせ／03-6776-8800



(新卒採用ページ)



LGBTQ が特別なことではない日常になるように

瑞泉酒造株式会社は1887(明治20)年の創業以来、伝統の味を守り続けてきました。
地域に根差した企業として、全ての人が自分らしく生きられる日常を目指します。

1人ひとりが輝ける社会の実現のために

「CHANGE WITH CHEERIO」をスローガンに、皆さんとの対話を通じて、共に変化を創ります。
全ての人が個性を最大限に発揮し、輝き続ける社会の実現を目指します。

人材育成・啓発

社員向けに、LGBTQの研修

全ての社員がLGBTQを理解するために、当事者の方を講師に招き全社員への研修を開催しました。



社内制度・環境

性別にとらわれない環境

スタッフの数も男女同じくらいで、女性も多く在籍しています。
管理職に就く女性も多く、一人ひとりの能力を重視する職場です。

個性を大切にする社風

2000年には、他社に先駆けて女性の社氏を採用するなど、性にとらわれず個人を大切にする社風が根付いています。

取組・評価

県内のイベントへの協賛や参加

「ピンクドット沖縄」のイベントに、2016年から継続して協賛・参加してきました。社員や管理職がイベントに参加。LGBTQ当事者やALLYの皆さんと直接触れ合い、理解を深めています。



人材育成・啓発

新入社員研修

毎年、当事者によるLGBTQに関する講義を新入社員を中心に実施しています。



社内広報

毎月の社内報にLGBTQのページを作成し、LGBTQに関する正しい理解を促します。



社内制度・環境

社内規定

就業規則には性別による差別禁止事項が明記されており、同性パートナーシップ制度を2018年に導入しました。

相談窓口の設置

匿名の相談窓口の設置や専用のメールアドレスの登録など、セキュリティ保護のもと安心して相談ができる環境を整えています。

取組・評価

PRIDE指標認定

LGBTQに関する取り組み評価指標「PRIDE指標」で2022年は「シルバー」に認定されました。

全国プライドイベントに協賛、参加

社員もチェリオユーザーも巻き込んでイベントを盛り上げるブースを運営。当事者とも直接コミュニケーションを取るきっかけに。



レインボーパッケージ飲料販売

レインボーフラッグの6色のカラーにメッセージを込めた飲料をチェリオ自動販売機にて発売しています。



酒造業
瑞泉酒造株式会社

所在地／沖縄県那覇市首里崎山町 1-35
問い合わせ／098-884-1968



清涼飲料製造業
株式会社チェリオ沖縄

所在地／沖縄県浦添市牧港 1-51-1
問い合わせ／098-877-3352



地域全体での理解をあと押し

我々はひとつのチーム。一人ひとりの想いと挑戦がうちなーの翼を支えています。
安全運航を大前提に、世界に「沖縄らしさ」を届けます。



ダイバーシティアイランド沖縄実現に向けて

日本のホテル施設で初めてLGBTQフレンドリー宣言を行いました。
多様性を尊重し、全ての方が自分らしく生きやすい社会づくりを実現します。

人材育成・啓発

LGBTQ ALLY企業合同講演会

県内の他の企業と合同での社員向け講演会を開催しています。

全社員向け研修の実施

LGBTQ研修を実施し、グループ全社員が受講しました。以後入社の新入社員に対してもセクシャル・マイノリティについての内容を盛り込んだ研修を継続しています。



社内制度・環境

社内規定の整備

社内各種規程において、同性パートナーを配偶者と同等に扱う旨の規程を整備しました。

相談窓口

LGBTQに関する社内相談窓口「虹色ホットライン」を設置しています。

エントリーシートの性別欄撤廃

就職時のエントリーシートに性別の記載欄を設けていません。

取組・評価

ピンクドット沖縄への参加

協賛のほか、レインボーパレードに社長をはじめとした社員で参加しました。

LGBTQ ALLYチャーターの実施

2019年のピンクドット沖縄開催にあわせてJALグループによる羽田-那覇のチャーター便を運航しました。



PRIDE 指標認定

2016年から7年連続でゴールドを取得しています。

人材育成・啓発

啓発セミナーの開催

誰もが住みやすく自分らしい社会づくりを目指すダイバーシティアイランド沖縄実現に向けた、LGBTQ(タイバシティ)啓発セミナーを社員を対象に不定期に実施しています。



社内制度・環境

LGBTQ相談窓口

総支配人(経営者)が窓口の代表受付となり、当事者からの個別の相談に対応し、安心して働ける環境を整備しています。

制服の自由化

トランスジェンダー職員が働きやすい環境に配慮しています。本人が望む性別での制服で勤務できるようにしています。



取組・評価

社外への取組

(一社)ピンクドット沖縄の代表理事を務める総支配人が、各企業と連携しLGBTQ啓発セミナーを対外的に実施しています。

LGBTQフレンドリー宣言

2014年に日本のホテル施設で初めてLGBTQフレンドリー宣言をしました。館内外に、レインボーフラッグを設置して、当事者の方々がより快適に過ごせるホテル運営を目指しています。

心のバリアフリー表彰

2021年国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。

航空運輸業
日本トランスオーシャン航空
株式会社

所在地/沖縄県那覇市泉崎 1-20-1
カフナ旭橋 A 街区 3 階



宿泊業
ホテルパームロイヤル
NAHA国際通り

所在地/那覇市牧志 3-9-10
問い合わせ/ 098-865-5551



Ally企業を訪ねてみえたこと

実際に見て感じたLGBTQに寄り添うAlly企業の印象は？

訪問の前と後で理解が深まったことは何？ 企業を訪問した学生に聞いてみました。

企業取材を体験して印象に残ったこと



ほかの企業と一緒に当事者を招いた講演会を行うのは、とてもいい取り組みですね。仕事の面でも性別にとらわれず、女性が技術職で活躍していたり、個人の向上心や能力を発揮できる職場だと感じました。



機内アナウンスで「レディース&ジェントルメン」を使わなくなったと伺い、細かなところにも気を使っていることにビックリ。ピンクドットのチャーター便の機内がレインボーカラーに彩られていたのも印象的でした。

二人が考えた LGBTQ とは



教育実習でお世話になった学校では、制服の選択や出席番号、体育の授業も性別で分けることなく行われ、トイレも配慮されていました。そんな環境で育った世代には、ジェンダーフリーが普通の時代になるのだと思います。私たちもそんな世代の意識についていけないといけないですね。



台湾の大学に在籍していますが、LGBTQの方も意識することなく学内で一緒に過ごしています。女性が働きやすい地域としても知られていて、社会全体が能力や個性を大切にするような、LGBTQを含めジェンダーフリーな環境が整っているように感じます。沖縄も同じようになるといいですね。

取材を通して感じたことで同世代の人たちに伝えたいこと



就職先を決める時には、収入や福利厚生などに目が行きがちですが、今回の取材を通して企業の取組を知ることも重要だと感じました。テーマはLGBTQでしたが、それは人・個人を大切にすることが根底にあると感じた貴重な体験になりました。



就職活動では、自分に合った自分らしく働ける環境を選択することだと、照屋さんが話してくれたことが印象に残っています。自分に合った企業を探すためには、新垣さんのお話のように、企業の取組に目を向けてみるのも大切ですね。

イベントに参加したり 講演を聞いてみませんか？

沖縄県内では、那覇市が2016年に同性カップルを夫婦と同等の関係と認めるパートナーシップ登録制度を開始し、2022年10月からはファミリーシップ登録制度を導入しています。2021年には浦添市も「性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」を制定し、パートナーシップ制度を実施しています。

2022年に開催10周年を迎えたピンクドット沖縄では同性婚の法制化を目指して活動するMarriage for all Japanの活動とも連帯しています。2022年11月にパレットくもじ前交通広場で開催されたイベントには、県内外から著名人やAllyの方々が出演。

自らの体験から「個人を尊重することが最大の理解、自然体で付き合っていくことが大切」と話されていたAllyの方のお話は、印象的でした。松尾交差点を折り返すパレードには、当事者やAlly約350人がレインボーフラッグを振り、沿道の声援を受けながら参加しました。

また、ピンクドット沖縄では、自治体、企業、学生などのご要望にお応えして、講師の派遣や懇親会を行っています。

あなたも、イベントに参加したり講演会で話しを聞いてみませんか。LGBTQを身近に感じて、理解を深めましょう！

※イベント内容は、毎年異なります。
事前に情報をご確認ください。



詳細はサイトでチェック▶





だれひとり とりのこさない 社会へ

発行 沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
事業 人権啓発活動地方委託業務
監修 新垣 誠 沖縄キリスト教学院大学教授



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2023年3月発行